

神戸市舞子台緑地公園の虫とりマップ(2022年)とセミ大調査(2023年)

有川 潤 (神戸市立舞子小学校 5年4組)

はじめに

ぼくは虫捕りが好きだ。2022年の夏休みの自由研究では、どこにどんな虫がいるか記録を取ったら面白いと思い、近所の公園で虫捕りをして虫とりマップを作った。そうしたらクマゼミとアブラゼミの逆転現象を見つけた。2023年の自由研究では、同じような逆転現象があるのか調べるために毎日セミ捕りをしてつかまえたセミの種類と数を調べた。

方法

舞子台緑地公園虫とりマップ(2022年)

1. 舞子台緑地公園で虫捕りをする
2. 記録をとる【日時、天気、虫の名前、虫の様子、虫のいた場所】
3. つかまえた虫に番号を付ける
4. 地図上の虫をつかまえた場所にその虫番号を書く

舞子台緑地公園セミ大調査(2023年)

1. 舞子台緑地公園でセミ捕りをする(8:00~9:00すぎ)
2. 記録をとる【日時、天気、セミの情報(種類、数、オス・メス)】
3. セミの種類と数の変化を調べる

結果と考察

2022年の自由研究では、全部で334匹の虫をつかまえて「舞子台緑地公園虫とりマップ」を作った。その中でセミが1番多く288匹も捕れた。セミがたくさんいるセミスポットやトンボとバッタが多いトンボ&バッタスポットなどがあることを見つけた。レア昆虫のタマムシを捕まえたし、逃げられたけどギンヤンマやコクワガタもいた。さらにセミについて詳しく調べたら、虫とりを始めた7月25日からクマゼミがだんぜん1番多く捕れたけど8月になって減り始めた。一方、アブラゼミは、遅れてとれ始めて8月10日からはクマゼミよりアブラゼミのほうが多く捕れた。これを逆転現象ということにした(図1)。しかし、虫捕りを休んでいた日があったので逆転した日(逆転ポイント)は分からなかった。

2023年の自由研究では、クマゼミ461匹とアブラゼミ301匹、ミンミンゼミ95匹、ニイニイゼミ3匹、ツクツクボウシ2匹の合計857匹のセミを捕まえた。7月末からクマゼミ、遅れて8月になってからアブラゼミが捕れるようになった。この傾向は2022年と同じだったけれど、はっきりとしたクマゼミとアブラゼミの逆転ポイントは分からなかった(図2)。

ミンミンゼミは、関西では低山地~山地にいるはずだけど、2022年は34匹、2023年は95匹も捕れた。だから垂水区(山地ではなく市街地のはず?)ではもう定着しているのかもしれないと思った。また、ミンミンゼミは色や斑紋が個体によって少しずつ違った。

